

VOL. 24
2006/01/01



特集
新春を迎えて

明日を担う
臨時総代会
トピックス
理事会だより

<http://www.ja-asahikawa.or.jp>

あさひかわ VOL. 24 平成18年1月1日発行 ■編集発行あさひかわ農業協同組合 管理部総務課 ■印刷(株)エー・アイピー 農文協 ■表紙写真 旭川市景観課

新しい通帳への切替えをお願いします。



JAバンクでは、
平成18年1月4日(水)より、
信用事業のシステム変更のため通帳が新しくなります。

1月4日(水)以降、現在ご使用の通帳を持参のうえ、窓口までお越しください。新しい通帳に切替えさせていただきます。
なお、1月4日(水)は窓口の混雑が予想されますので、通帳切替えをお急ぎでないお客様は、時期をずらしてのご来店をお願いします。

現金のお引き出しはお早めに!

12月31日(土)～1月3日(火)の期間は引き出しができませんので、年末年始にご入用の現金は、12月30日(金)までにあらかじめ引き出しいただくなどの準備をお願いいたします。他金融機関のATMをご利用の場合も同様にお引き出しができません。

お早めに通帳へ記帳をお願いします。

現在ご使用の通帳で記帳されていないお取引があるお客様につきましては、12月30日(金)までに記帳いただきますようお願いいたします。
なお、記帳されていないお取引がある場合は、誠に勝手ながら、「入金額の合計」および「出金額の合計」の2つの明細にまとめさせていただきます。また、まとめさせていただいた明細につきましては、別途お知らせいたします。

ATMでのお振込みは…

ATMでの振込は、12月30日(金)15:00で当日振込終了となり、翌年1月4日(水)の振込予約はできません。

インターネットバンキングのご利用は…

インターネットバンキングでの振込・振替につきましては、12月25日(日)22:00～1月4日(水)6:30までの期間休止いたします。なお、照会につきましても、1月1日(日)0:00～1月4日(水)6:30までの期間休止いたします。



新システムへの切替えに伴い、皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご協力をお願いいたします。

詳しくは、窓口へお問い合わせください。

明

けましておめでとー
ございます。

平成18年の新春を皆様と共に
お迎えできますことを心か
らお喜び申し上げます。

昨年の農業を取巻く環境は、
WTO農業交渉が依然として
予断を許さない状況に推移す
る中で、食料・農業・農村基
本計画の見直しが進み、地域
水田農業ビジョン策定のもと
に2年目を迎えた米政策改革
大綱の対策も、早くも「新・
産地づくり対策」への新しい
展開を準備し、「品目横断的
経営安定対策」への移行に向
けた具体的な動きが早まるなど、
地域農業が大きな転換期に直
面していることをいっそう強
く感じさせられた1年でした。
不安定な経済環境とこうし
た困難な農業情勢の中で、昨
年は、地域農業の振興を図る
べく、第2次農業・農協中期
3カ年計画を策定し、「持続
可能な農業・農協の構築」を
実現することをお約束してス
タートいたしました。その初
年度として、特に今まで以上

謹

んで新年のお慶びを
申し上げます。

昨年の北海道農業は、春
先の天候不順で、収穫期の
作柄を心配しておりましたが、
その後の好天により米、畑作、
酪農全般にわたり総じて良
好に推移しました。特に米
の作況指数は109と大豊
作となり収量も過去最高と
なりました。しかし、米を
中心に価格の低迷が続き農
家経済は厳しいものとなり、
豊作を素直に喜べない状況
にあります。そのため、J
Aグループ北海道は、現在
組織を挙げて再生産可能な
所得確保対策に全力を傾注
して取り組んでいます。
さて食料・農業・農村・
JAを取り巻く環境は、W
TO農業交渉が昨年12月の
香港閣僚会議において、本
道の最重要課題であります
上限関税や重要品目の扱い
については決着が先送りさ
れました。しかし、モダリ

に消費者を意識したクリーン
米の生産に全生産者で取り組み、
安全・安心な「JAあさひか
わブランド米」づくりに努め
てまいりました。その実現の
ために、営農販売部門を統合し、
農家巡回による営農指導体制
を強化し、訪問活動による組
合員との結びつきを深める対
策などを進めた結果、全出荷
量の80・1%がクリーン米と
して区分保管され、産地指定
率も81・8%と高まりました。
作柄全般としては、春先は
低温と日照不足により農作業
のスタートが遅れ、作物の生
育が心配されましたが、5月
末から天候が一転して回復し
たことから、水稻では上川地
区の作況指数が107となり
集荷円滑化対策が発動され、
1万8、200俵余を主食用
米から区分保管いたしました。
青果、果樹、そば等につきま
しては、開花期の高温早ばつ
等の影響により収量、品質、
価格の面で大変厳しい状況と
なり平均反収は前年に引き続
き落ち込みました。そんな中で、

ティの確立期限が4月末ま
でと設定されるなど、交渉
は再び厳しく、予断を許さ
ない状況下にあります。北
海道農業が日本の食料供給
基地としての確固たる地位
を築き、食料自給率の向上
と消費者への安全・良品質
な農畜産物の供給を目指す
ために、日本農業の存在自
体を否定するモダリティ案
は断じて認めることができ
ません。今後とも日本提案
が認められるよう内外の関
係団体との連携を強化し運
動を盛り上げていきたいと
存じます。
一方、平成19年産から導
入される品目横断的経営安
定対策については、円滑な
移行に向け、制度の周知徹底、
認定農業者への指導や生産
の組織化など、組織をあげ
取り組むとともに、財源確
保対策を含め北海道の農業
者が将来に希望を持って農
業に携わることができる政

新春を迎えて

代表理事組合長 山本 隆一



新年にあたり

北海道農業協同
組合中央会 会長 宮田 勇



定期的に残留農薬検査を実施
するとともに、現在17品目の
認証を受けている、YES!
clean、や、クリーンD
o、の取り組みを消費地、業
者への販売推進、そして消費
者に積極的にアピールしたこと、
園場見学と料理教室を組み合
わせた、クッキングフェスタ
の開催など新たな取り組みに
よって、消費者や市場、量販
店から高い評価をいただき、
今後につなげていくことが出
来ました。

購買事業につきましては、
神居給油所地下タンクの老朽
化に伴い入替をさせていただ
きました。又、原油高騰によ
る農業諸資材の値上げ傾向の
なか、生産費のコスト低減に
向けて取り組んでまいりました。
信用、共済事業につきましては、
では、貸付は依然として景気
低迷が続く資金需要が落ち込
む中で、貯金は、4月のペイ
オフ全面解禁により分散化が
懸念されましたが、各種キ
ャーペーンの実施により年度末
計画を上回る見通しとなりま

した。又、共済は、全職員一
丸となって推進を実施し計画
を達成でき、一定の成果を見
ることができると考えて
おります。昨年の臨時総代会
にご承認いただきました、永
山駅前通り再開路に伴う永山
基幹支所施設整備につきまし
ては、組合員や地域住民が利
用しやすい金融店舗や大会議
室などのホール、農畜産物や
農産加工品の直売、それらの
食材を使った食事の提供など
JAあさひかわ農産物のアピ
ールと地産地消を推進する農
村と都市の交流拠点として整
備し今年7月下旬のオープン
を目指しております。

本年も組合員皆様の期待と
信頼に応えられるよう、役職
員一丸となって農協運営に邁
進してまいりますので、いつ
そうのご理解とご協力をお願
いいたします。最後に、組合
員並びにご家族皆様方のご健
勝と、本年も豊かな出来秋を
迎えることが出来ますよう心
からご祈念申し上げ、新年の
ご挨拶といたします。

ら物質的豊かさを追い求め
てきました。その結果、経
済効率、企業優先の社会と
なり資源や環境の破壊をも
たらしてきました。しかし
環境や資源、安全などが重
視されるようになり農業、
JAに対する見方も随分変
わってきました。競争から
共生の社会へ時代は変化し
ています。いまこそ「一人
は万人のために、万人は一
人のために」という協同組
合の理念を全員が意識し「共
生の世紀づくり」にまい進
しようではありませんか。
JAグループ北海道は組合員、
JA、地域住民の期待と信
頼に応えるためこれからも
全力で取り組んでまいります。
最後に、本年は災害がな
く豊稔の出来秋を迎えるこ
とができますよう心からご
祈念申し上げ、新年のご挨拶
といたします。

策の実現にむけ万全を期し
ていきたいと思えます。

また昨年は規制改革・民
間開放推進会議による「信用・
共済事業の分離・分割」「独
占禁止法の適用除外」など
JA組織の存続にかかわる
問題が提起されております。
引き続きJAに対する道民
の理解を深める広報対策を
強めてまいりたいと存じます。
さて本年は3年に一度開
催される「第25回JA北海
道大会」が開催されます。
21世紀における北海道農業・
JAが取り組む指針であり、
北海道農業が日本の食料供
給基地として農業の展開を
図るため、食料自給率の向
上と消費者への安全・良品
質な農畜産物の供給を目指
すとともに、JA経営では
自己責任に基づく経営の健
全化を図り強靱な経営基盤
を確立することが必要であ
ります。
これまでの社会はひたす

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成18年の新春を健やかに迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。又、日頃より青年部活動に對しまして組合員皆様の暖かなご支援、ご協力を承り68名の部員を代表し心から感謝申し上げます。

昨年は、一昨年の様な大型台風の直撃も無く、稲作においては豊作、畑作・青果においても大きな被害も無く胸を撫で下ろしているところでございます。しかし、農業政策の問題で豊作にもかかわらず、心から喜べないのは残念でなりません。

我々青年部は「JAあさひかわ青年部」として合併してから昨年で4年目を迎えて、少しずつではありますが、1つの青年部としての意識が高まってきたと思います。

本所役員はもとより部員が協力しあい、様々な事業を行ってきました。部員間のより一層の団結を深めるた

め、の交流会や視察研修、WTOの問題や品目横断的政策の勉強会、農業まつりにおいても微力ですがJAのPR活動に参加、青年部の意見を農協運営に反映してもらったための役員との懇談会、また今年は青年部改革で規約の改正に取り組みでまいりました。今までは各支所に規約があり若干の違いがありましたが、これからは支所の規約をなくし、本所だけにしようと考えています。合併5年目にして名実ともに1つの青年部になれると考えています。

今年も各種勉強会はもちろん、さらなる部員団結の為の交流会、JAのPR活動に取り組んでまいりたいと思います。

最後に、組合員の皆様とご家族のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、青年部活動に對しましてもなお一層の暖かいご支援ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

の大きな転換期を迎えます。北海道では「食料・農業・農村ビジョン21」で「食」「人」「地域」「環境」の四項目により農業振興を図っています。食の安全・安心を推進するともに「食」と「観光」を結ぶ施策にも取り組んでいます。

あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年の春先は低温、日照不足が長期間続き、融雪は遅れました。水稻は六月以降は気象が回復し、皆様のこまめな水管理によって茎数確保がスムーズとなり、

豊穡の秋を迎えることができました。しかし、制度上初の集荷円滑化対策が発動され、園芸品目では期間を通じて安値に推移するなど

農業経営にとって満足できる年ではありませんでした。農業を巡る情勢では、新たな食料・農業・農村基本計画が策定され、国際化に

対応すべき経営所得安定対策大綱により、品目横断的経営安定対策等が平成十九年より進められるなど農政



年頭にあたり
青年部 部長 塚原 正和



年頭のごあいさつ
女性部 部長 石橋 章子

明けましておめでとうございます。昨年は春先の低温が続きましたが、徐々に回復し、夏・秋と天候に恵まれ、稔りの秋となり皆様にとってよい年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

女性部の活動としては、6月の研修会は、170名が参加し、農協観光主催の上川・空知管内合同で、長年ラジオ・TVで活躍されてきた「大山のぶ代」さんの「おもしろ人生あれこれ」という題で、講演を聴くことができました。

「ドラえもん」の声を25年続けたこと、家庭のことなど1時間半があつという間に過ぎ、時間を超過するほどでした。午後からは、旭山動物園へ行き、童心にかえり、皆それぞれ楽しんだ有意義な研修となりました。

7月、JAあさひかわ農業まつりでは、昨年まではお手伝いでしたが、今年は女性部として、フリーマーケットを出店しました。部

員の皆様、JA職員の方々からたくさん品物を寄付していただき、当日は、開会式前からたくさんの方々が集まり、1人で何点も買う人もいて、天候にも恵まれ、午前中で売れ切れとなりました。

また、8月、9月、10月と毎月1回計3回、JAあさひかわクッキングフェスタが開催され、地元「JAあさひかわ産」の食材を使い、料理研究家の清水信子先生を東京から招き、料理講習会が行われ、女性部員も各2日間ずつ、先生のお手伝いをしながら、参加された方たちと交流を図りながら、料理の勉強をしました。

最後になりましたが、本年も女性部活動にご理解とご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。

ムを構築し、安心して営農できる農業経営の確立が急がれます。普及センターでは、農業・農村社会が維持発展するための地域農業の将来目標を整理し、営農のしおりで提案させていただくことにしています。普及センターは、農業者の皆様の側にいることをモットーに今年も普及活動を展開させていただきます。

今年も豊穡の秋と、夢多き年になりますようご祈念申し上げますとともに、職員共々よろしく願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

農業経営の維持発展をめざして

上川支庁上川中部地区
農業改良普及センター

所長 六辻 博道



謹んで新年のお慶びを申し上げます

■あさひかわ農業協同組合■

代表理事専務 山本 隆一

常務理事 田口 春義

副組合長理事 中井 篤志

理事 吉本 秀男

山口 芳夫

石橋 衛

大原 萬

田中 勝

川合 俊行

神田 悟

長田 雄

岸本 庚雄

水口 政勝

笠井 好一

楠井 雅弘

荒川 保

鈴木 進

久保 親友

山崎 勝

日比野 親友

伊澤 安喜雄

小杉 壽幸





自分に見合った生産規模で、その時の社会情勢に合わせた農業経営を。

業天 毅さん
(中央地区)

- 1 昭和47年6月（防犯の理由から月日までは書かなくていいのでは？）
- 2 父、母、祖母
- 3 読書
- 4 平成8年から
- 5 花卉と野菜
- 6 出荷するまでに、なるべく手のかからない品目を選び、より広い地域に出荷する。
- 7 自分の体力に合った生産規模で、その時の社会情勢に合わせた農業を経営する。
- 8 広いネットワークを持つJAの力を借り、ストーンピッカー、ストーンクラッシャーを用いた農地整備をして頂ける方、もしくは、これらの農機を借りて作業できるといいなと考えている。
- 9 北斗 晶



消費者に自分の農産物をアピールできるように、頑張っていきたい。

中山 正章さん
(永山地区)

- 1 昭和42年4月30日
- 2 父、母、妻、息子
- 3 サッカー観戦
- 4 昭和61年4月から
- 5 水稻・野菜
- 6 水稻を中心に、野菜の生産量・売上の向上を目標にしていきたいと思っている。
- 7 消費者に自分が作った農産物をアピールできるような農業経営者になれるように、頑張っていきたい。
- 8 営農指導と情報の提供をお願いしたい。また、これからも、より協力体制がとれれば良いと思う。



消費者ニーズに合った新品種の導入を！

村田 典彦さん
(旭正地区)

- 1 昭和50年11月13日
- 2 妻、父、母、妹、弟、祖母
- 3 スノーボード、野球、ゴルフ
- 4 平成10年から
- 5 水稻、野菜の複合経営
- 6 現在の経営スタイルを維持しながら法人化を目指す。
- 7 より一層のコストダウンを図り、消費者ニーズに合った新品種の導入。
- 8 営農センターに営農販売部職員が常駐してほしい。



明るく、楽しく、元気に農業を。

山中 泰典さん
(神居地区)

- 1 昭和47年5月24日
- 2 父、母、祖母
- 3 映画、音楽、ドライブ、温泉
- 4 平成7年4月から
- 5 果樹専業（リンゴ・サクランボ・ウメ・ブルーベリー）
- 6 時間的、経済的にもゆとりの持てる農業経営。平均的サラリーマン所得以上の確保と年間労働3000時間以下が目標。
- 7 農業情勢も厳しく、近年では気象災害の被害も多く、なかなか思い通りにいかないが、自分のアイディア・オリジナリティにはたくさんの可能性があると思うので、自分を見失わず、また夢を諦めずに地道に努力していきたい。
- 8 農協には大変お世話になっている。無理な要望にも応えてくれるし、大変助かっている。要望としては、将来に向けて旭川の果樹産業を盛り上げるために、後継者育成と一緒に取り組んでほしい。それと、戸々の果樹農家が体力ある経営をするために、何が必要でどうしたらいいかを、「梓」にはまらず一緒に模索してほしい。
- 9 自分をしっかり持っている人



運営委員及び 組合員 合同懇談会 を開催

11月9日（水）から11月11日（金）にかけて、運営委員及び組合員合同懇談会を9会場にて開催した。

山本組合長の挨拶の後、

議題として永山駅前通り再開業にかかる固定資産の処分及び取得について説明。続いて、第4回臨時総代会の開催について説明した。

次に、信用、共済、営農販売、購買、旅行事業についての決算予測を説明し、最後に次年度に対する事業の要望等を伺って閉会した。

懇談会では、組合員の皆様にご提案した議事についてご理解と貴重なご意見を多くいただいた。寄せられたご意見等については、集約してご報告したい。



第4回 臨時総代会 を開催

11月17日（木）午前10時より本所3階大ホールにおいて、出席総代数480名（本人出席21名、書面議決出席459名）のもと第4回臨時総代会

議場では、山本組合長の挨拶の後、神居地区の藤原正光さんを議長に選出し議事が進められ、提出した議案に対し過半数以上の賛成が認められ、原案通り可決した。

にもとづく書面議決をもって議決権の行使をお願いした。

が開催された。今回は、永山駅前通り再開業にかかる固定資産の処分及び取得についてご承認を願うために開催されたもの。時節柄、何かと多忙な時期でもあることから、定款第47条

永山基幹支所 安全祈願祭

12月8日（木）、午前10時より永山基幹支所前駐車場において、あさひかわ農業協同組合店舗・倉庫解体工事並びに永山基幹支所施設整備工事安全祈願祭が行われた。

当日は、当JA役職員及び関係団体、さらには建築会社、地域関係者等が参列し、厳粛な雰囲気の中で無事、神前の儀式を終えた。

今後の予定としては、現施設を解体し、平成18年7月下旬に新しい永山基幹支所のオープンを目指している。



消費者や世間の情報に耳を傾け、経営規模の拡大を目指す。



荒川 始さん
(旭正地区)

- 1 昭和55年10月16日
- 2 父、母、妹、弟、祖母
- 3 みんなでワイワイ飲むこと、騒ぐこと
- 4 平成10年から
- 5 稲作23ha 麦3ha 大豆2ha 牧草6.5ha
- 6 経営規模を拡大し、転作とうまく付き合っていく。時間にゆとりのある経営。
- 7 作れば売れる時代はもう終わりに近づいているので、消費者や世間の情報に耳を傾けたい。
- 8 JAあさひかわオリジナルブランドを売り込んで欲しい。
- 9 明るく元気で楽しい子。笑顔でいつも笑っている子。

クッキングフェスタ

10月30日（日）、本年最後のJAあさひかわクッキングフェスタを女性部の協賛のもと、旭川調理専門学校で開催した。第3回の今回は35名の参加者で、最初に神居地区江丹別を視察。江丹別そば加工（株）で菅原工場長より、そばが栽培されてから製粉してそば粉になるまでの説明を受けた。その後、隣接する「そばの里江丹別」で特別メニューの石臼挽き100%の挽きたてのそばを試食。参加者にとって大喜びのスタートとなった。

料理教室では、開催場所が調理師専門学校ということで器具等も本格的。班編成も4人一組となり各班に女性部1名が助手として参加。メニューは、「小豆ご飯」、「南瓜の鶏とぼろあんかけ」、

「小豆ご飯」、「南瓜の鶏とぼろあんかけ」、



「昔いっぱいのそばすい」とん、「りんご寒天」。今回は北海道新聞社が取材に来ている中、清水信子先生の親切な説明のもとで手際よく料理を完成させた。3回にわたり、生産者圃場、施設等の見学を実施し、また当地区の食材を使用した料理教室を通じて、地産地消とJAあさひかわ産のクリーンな農畜産物をPRした。終了に当たり、準備から当日の手伝いに至るまでご協力いただいた女性部に感謝申し上げます。次年度はさらに充実した企画を検討中である。

北野 トビックス



▲「満足したよ」の笑顔がズラリ。

日帰りで秋の1日保養を楽しむ

北野年金友の会、桂沢湖で開催

10月17日(月)、北野年金友の会(山本守次会長、会員165名)は、三笠市桂沢湖の桂沢観光ホテルにおいて会員77名の出席のもと、日帰りで秋の1日保養を実施した。

早朝より秋晴れの中、一行はバス3台に分乗して鷹栖ICから三笠ICまで高速道路を利用して目的地に向かった。ホテル到着後は、雄大な桂沢湖や周辺の紅葉を楽しみ、ビデオ撮影や記念写真を撮って秋を満喫した。昼食に合わせて懇親会を開き、山本会長、島基幹支所長よりそれぞれあいさつがあり、4区の木全哲雄さんの乾杯の音頭で宴会が始まった。



▲はやくビールが飲みたいのですが…

「日頃の疲れを癒しに…」洞爺へ1泊研修

北野支所女性部が実施

米の収穫も終わり、ホッと一息ついた11月7日(月)、8日(火)に、北野支所女性部では札幌・洞爺方面への1泊2日の研修旅行を実施した。

まず、札幌中央市場で、担当者の方に場内を案内して頂き、道内外からのたくさんの野菜の多さに感動。(特に自分たちの栽培しているきゅうりについては興味津々!)その後、野菜の情勢について説明を受け、これからのきゅうりの品種、選別など多くの意見交換を行った。また、来年に向けて新たな気持ちで栽培

することを約束して終了した。2日目は、有珠山の噴火口を散策し、未だに数多く残る噴火の爪痕を間近にし、心地よい風にあたりながらも、一同は切ない気持ちになった。2日間ではあったが、ゆっくり温泉につかり、バスの中や懇親会でも部員同士が語り合い、そして笑い、非常に有意義な研修旅行となった。

神居 トビックス



▲私たちが、神居支所のメンバー!

「お座敷列車で行く函館の旅」で交流

神居支所・旭川中央支所女性部が合同研修会開催

一昨年には永山支所女性部が、昨年は旭正支所女性部が行って好評だったことから、企画された。

お座敷列車の中で景色を見ながら談笑したり、カラオケなどをしていくうちに6時間の時が経ち函館へ到着、宿泊先の湯の川温泉へ。夜は懇親会を兼ねての宴会で交流を深めた。

2日目の函館市内観光は、肌寒い感じだったが、晴れの天気。朝市での食事は、みんなで海の幸を満喫した。帰りの列車の中でも疲れた様子もなく交流をいっそう深めながら、無事に楽しい旅を終え、大変有意義な研修会となった。



▲たくさん参加した中央支所のメンバー。

層雲峡温泉で日頃の疲れを癒す

神居支所年金友の会が温泉湯治

11月14日(月)から16日(水)までの2泊3日で、神居支所女性部(田中弘子部長、部員数139名)29名、旭川中央支所女性部(波能美智子部長、部員数70名)47名の計76名が参加して、合同冬季研修会を開催した。



▲楽しみは夜の宴席。

11月15日(火)から18日(金)の3泊4日の日程で会員79名の参加により温泉湯治を実施した。11月15日、各地区をバス2台で巡回し、午後4時頃ホテルに到着。4日間にわたってゲートボール大会、輪投げ大会、カラオケ大会など予定された行事に参加者全員で

行い楽しく過ごした。宴会では、カラオケや舞踊など多くのスターが自慢の芸を披露し大変な盛り上がりとなった。また、多くの参加者がゆつくりと温泉にもつかり、日頃の疲れを十分に癒し、有意義な時間を過ごした。18日に無事帰路に着いた。

噴火の跡残る洞爺湖温泉へ

永山支所女性部が温泉保養

永山支所女性部（板橋和子部長）は、参加16名のもと11月6日（日）から8日（火）、視察研修を兼ねて洞爺湖2泊3日の温泉保養を行った。

初日は、昭和新山と有珠山へ。昭和新山は昔トウモロコシ畑が山麓噴火で隆起を繰り返して出来たもので、標高は有珠山に比べれば低いものの、

夕日に染まった姿はとても美しかった。夜には、宴会の席で部員が演じる手品やゲームで盛り上がった。

翌日は、前日見逃した噴火口を見ることになり、西口火山散策路に向かった。所々にたくさんの地割があり、急な傾斜や民家も当時の出来事の噴火を彷彿させる生々しさを



▲九州名湯でリフレッシュ。

4泊5日の「九州名湯めぐり」を堪能

永山支所が「翔会」旅行を実施

11月7日（月）から11日（金）までの4泊5日の日程で、永山支所主催による「翔会」旅行が27名の参加により実施された。

今回は、「九州名湯めぐり」ということで、初日は別府温泉、2日目は内ノ牧温泉、3日目は雲仙温泉、4日目は嬉野温

泉と温泉づくしの旅として企画された。千歳空港から空路で羽田空港を経由して、大分空港に到着し、九州の旅が始まった。

日中は、ベテランバスガイドによる観光で九州を満喫。夜は温泉三昧で心も体も癒した。食事は地元食材をふんだんに使った料理を堪能した。

また、旅の途中、予定にはなかった土石流被災家屋保存公園を見学。雲仙普賢岳噴火による被災家屋が、当時そのままの状態で保存されているのを目の当たりにし、自然の猛威を実感した旅でもあった。来年も温泉めぐりとの声があり、支所ではすでに来年の行き先を検討している。



▲火口の噴煙にビックリ。

鹿児島・屋久島・種子島5日間の旅

旭正基幹支所旅行会が実施

旭正基幹支所旅行会は、11月7日（月）から11日（金）の4泊5日の日程で、19名の参加者により、「鹿児島・屋久島・種子島5日間の旅」を実施した。

一行は、旭川空港から羽田経由で南へ向い、午後3時、暖かい鹿児島空港に到着した。長時間の飛行で疲れを感じな

がらも、開門岳を見ながら池田湖をまわり指宿温泉に宿泊。翌日は、絶好の晴天のもと、指宿からジェットフォイルに乗船して世界遺産である屋久島を見学。大自然に感動しつつ宿泊した。

3日目も天気が良好、ジェットフォイルで種子島へ出発。日本の最先端技術の宇宙科学

技術館を見学し、現地に宿泊。4日目も日頃の行いが良いのか快晴。鹿児島に向かう。貸し切りバスで島津家別邸仙巖園（磯庭園）、桜島などを見学し、最後の宿泊地霧島温泉に到着。最後の宴会を上代幸子様の発声のもと、郷土料理、カラオケ、演芸を楽しんだ。5日目の最終日は雨だった。が九州の温泉を存分に満喫し、鹿児島空港を出発してお土産を抱えて無事、家路に着いた。



▲世界遺産の紀元杉の前で記念撮影。

「価格低迷で厳しい実績」

旭川青果物生産出荷協議会旭正支部による実績検討会

11月24日（木）、25日（金）の両日、旭川青果物生産出荷協議会旭正支部による実績検討会が層雲峡のホテル大雪で行われた。

この実績検討会は、2年に一度行われており、今年は、旭正

支部会員39名、市場や普及センター、農協からの23名が出席し、総勢63名が参加した。実績発表では、「今年は昨年のような台風の被害等はないが、野菜の価格低迷が続いたため前年よりも厳しい実績となった」ということが報告された。市場関係者からは、「今年は厳しい年であっ

たが、今は耐える時。皆さまで乗り越える力があると信じています」と励ましの言葉も聞かれた。その後の宴会では、様々な景品が当たるビンゴゲームなどを楽しみ、温泉につかりながら一年の疲れを癒やし、来年に向けての鋭気を養った。



▲真剣な面持ちの検討会風景。

職員人事

退職 お世話になりました

11/30 係 堀田 浩	旭正営農センター購買課 農業構造改善センター係
12/31 係 磯村 美由紀	旭正金融支所貯金共済課係

謹んで故人のご冥福を
お祈り申し上げます。

10/ 2 河原 正幸さん	神居地区嵐山2
10/18 松倉 清治さん	旭正地区旭正3 元役員
10/18 宮腰 保さん	中央地区神楽
11/15 高橋 春子さん	永山地区13区2組
11/17 熊林 勇吉さん	中央地区西御料地4区
11/21 神谷 計司さん	神居地区雨紛3
11/27 森川 キクエさん	旭正地区共栄6

(ともに正組合員)



(平成17年11月末実績)

組合員数	正組合員	2,743名
	准組合員	24,418名
	合 計	27,161名
出 資 金 残 高	1,908百万円	
販 売 取 扱 高	4,131百万円	
生産資材供給高	1,677百万円	
給油所供給高	1,474百万円	
生 活 供 給 高	396百万円	
貯 金 残 高	92,155百万円	
融 資 残 高	21,397百万円	
長期共済保有高	2,379億円	

概要

お 詫 び

本誌Vol.23 6頁に掲載した永山地区の17年産米初出荷の写真において、写真1番右に写っている女性を、**15区西農事組合の平野恵美子さん**とご紹介させていただきましたが、**15区西農事組合の菅原美智子さん**の誤りでしたので、ご本人にお詫び申し上げますとともに謹んで訂正させていただきます。

第11回理事会

平成17年10月28日(金)

協議事項

- 1 平成17年度9月末に於ける事業実績（子会社含む）および仮決算（子会社含む）の状況について
- 2 大口貸付について
- 3 ディスクロージャー誌（半期開示）について
- 4 永山駅前通り再開発及び今後の日程について
- 5 第4回臨時総代会について

報告事項

- 1 地区内営農状況について
- 2 共済事業にかかるコンプライアンス点検の結果について
- 3 JA全国監査機構による財務諸表等監査（期中監査）について
- 4 有価証券の取得について
- 5 系統外預金与信状況について
- 6 子会社旭川協同総業所有の固定資産の売却について

第12回理事会

平成17年11月30日(水)

協議事項

- 1 平成17年度10月末に於ける事業実績（子会社含む）および仮決算（子会社含む）の状況について
- 2 永山基幹支所施設の解体及び新築工事について
- 3 大口貸付について
- 4 北海道農業信用基金協会への特別出資増口について
- 5 出資の減口について
- 6 基幹支所運営委員会の開催及び役員改選日程について
- 7 規程類の一部改正について
- 8 年末手当の支給について

報告事項

- 1 平成17年度産米上川ライスターミナル利用とも補償事業と売れる米づくり事業等について
- 2 新たな経営所得安定対策の取組に伴うスケジュールについて
- 3 農家経営対策の取組について
- 4 内部監査の実施報告及び結果と処理願末について
- 5 JASTEMシステム移行に伴うATMの臨時休業及び稼働時間の変更について
- 6 JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」について
- 7 JAバンク基本方針に基づく月次モニタリングの報告について
- 8 人事異動について
- 9 要領の制定及び一部改正について
- 10 有価証券の取得について
- 11 系統外預金与信状況について
- 12 今後の日程予定について

中央
トピックス

最後の湯治で楽しいひと時を過ごす

神楽年金同友会が温泉湯治を実施

神楽年金同友会（森山茂会長、会員数291名）は、11月14日（月）から19日（土）まで3泊組と5泊組、合わせて104名の参加により、層雲峡観光ホテルで盛大に温泉湯治を実施した。

ホテルの窓から眺める山々は、うっすら雪化粧となり参加者の目を楽しませてくれた。

期間中、昼間はカラオケ、マージャン、花札、ゲートボールなどを存分に楽しみ、夜の宴会は会員の名司会の中、カラオケや踊りなどで盛り上がりを見せた。



▲賑やかな語り合いが続いた。



▲会員の想いいっぱいのバラ・ダリヤ展。

バラ・ダリヤ展と菊花展を開催
神楽地区花卉同好会が実施

神楽地区花卉同好会（森山茂会長、会員数25名）は、昨年に引き続き、バラ・ダリヤ展と菊花展を開催した。バラ・ダリヤ展は9月1日（木）からの神楽神社例大祭に合わせて行われた。この奉納展示会は、西御料地神社境内を会場にして開かれ、多くの参拝者から称賛を受けた。

また10月28日（金）、菊花展は西御料地区市民委員会文化祭に協賛して行われた。会場となった西御料地会館内には、会員が丹精を込めて育てた各種の菊が展示され、訪れた市民の目を楽しませていた。最後に、品評会が行われた。



▲丹精こめた大輪が並んだ。